

メッシュバスケットワゴン

ロッシーニ【アラベスク】【モザイク】2段

品番：ROW-F2A/ROW-F2M

共通説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。

ご使用前に、必ずこの説明書を最後までお読み頂き、正しい使い方で末永くご使用下さい。

！注意事項

- 危険ですので、ワゴン以外の用途にご使用しないで下さい。
- 製品の上に、水気のものや熱を持ったものを直接置かないで下さい。
- 直射日光のあたる場所や、湿気の多い場所でのご使用は控えて下さい。
変形・変色の恐れがございます。
- 水平な場所でご使用頂きますように、お願いします。
- 商品に偏った体重のかけ方をされると横転の危険があります。特にご注意下さい。
- 組立ての際には床等が傷つかないように、布等を敷いた上で組立てて下さい。
- ご使用中にゆるみが出た場合は、各部分のボルト・ネジを確実に締め直して下さい。

ROSSINI メッシュバスケットワゴン【アラベスク】【モザイク】2段 〈ROW-F2A, ROW-F2M〉

品質表示

※外形寸法：約 幅450mm×奥行365mm×高さ500mm
※表面材：(天板)パインの天然木【ROW-F2A、ROW-F2M(BK)】
杉の天然木【ROW-F2M(WH)】
中質繊維板【ROW-F2Mのみ】
(脚部・バスケット)スチール
※表面加工：(天板)ラッカー塗装【ROW-F2A、ROW-F2M(WH)】
植物性オイル塗装【ROW-F2M(BK)】
(脚部・バスケット)エポキシ粉体塗装

取扱上の注意

1. 湿気の多い場所でのご使用はお避け下さい。
2. ご使用の際は、水平に保つようにして下さい。
3. 直射日光またはストーブなどの熱はお避け下さい。
4. 加熱したなべ、湯沸かし等を直接置かないで下さい。
5. 腰掛けたり上には乗らないで下さい。

表示者：株式会社B.Bファニシング
大阪府堺市東区丈六171-37 ユニイマニシビル2F
TEL：072-230-3334

MADE IN CHINA

組立説明書 ※プラスドライバーをご用意ください。

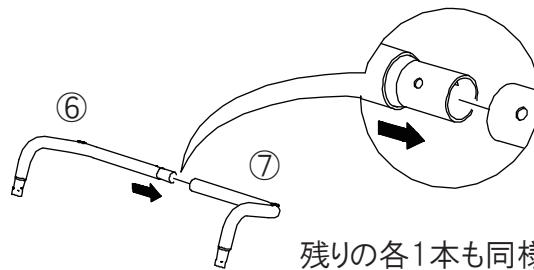
部材	※組立前に、以下の部材が揃っているか必ずご確認下さい。		
①バスケット(上段用)		1個	②バスケット(下段用)
	<p>バスケット(上)は天板のストップバーが付いています</p>		1個
③天板		1枚	④鉄片
		4枚	⑤パイプ
		2本	⑥曲げパイプA
		2本	⑦曲げパイプB
		2本	

部品	※組立前に、以下の部品が揃っているか必ずご確認下さい。			
A:ボルト(長)		4本+予備1本	B:ナット	
		4本+予備1本	C:ボルト(短)	
		6本+予備2本	D:スパナ	
E:キャスター		4個	F:天板のがたつき止め	
		4個		

1

組立する前に、組立時に床などが傷つかないように、毛布や段ボールなどの上で組立を行うように、お願い致します。

⑥曲げパイプAと⑦曲げパイプBを、下記のイラストの様に、挿し込んで下さい。

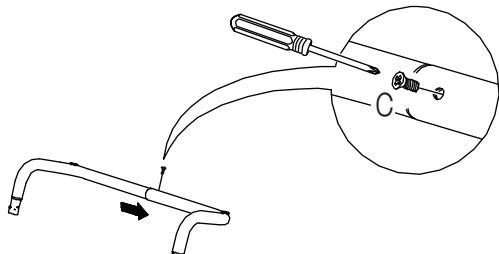


残りの各1本も同様に差し込んで下さい。

2

1 で組立てたパイプに、ボルト穴が開いていますので、その穴に、Cボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

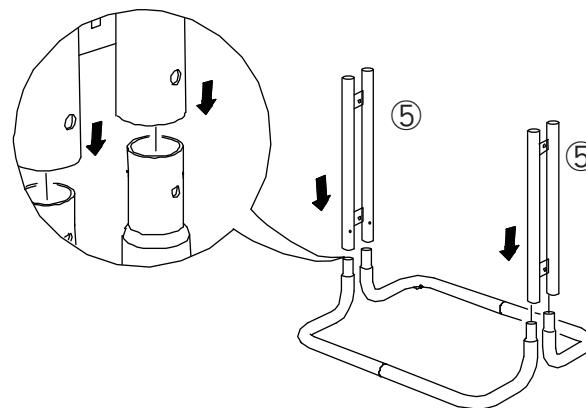


残りの各1本も同様にCボルトで組み立てて下さい。

3

2 で組立た物を、下記のイラストの様に上に向けて下さい。次に、⑤パイプを下記のイラストの様に挿し込んで下さい。

※⑤パイプにボルト穴が開いています。この穴は内側に向けて取付けて下さい。



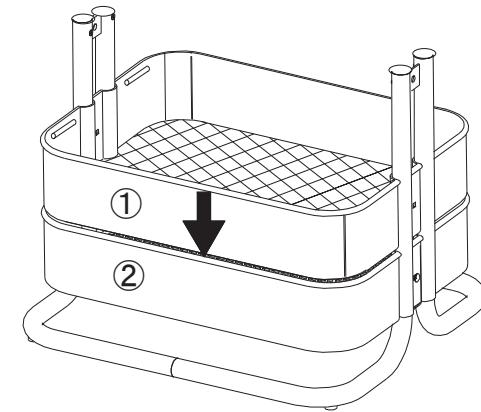
5

2 で組立てた物を、下記のイラストの様に、②バスケット(下段用)と、①バスケット(上段用)の順番で入れて下さい。

注意!

※上記のバスケットを入れる作業の時に、4で仮止めにしていたCボルトのボルト頭が、バスケットの底とぶつかりあう場合がございます。

その場合は、4 で仮止めしてある、Cボルトをもう少し締めて調整をしてから、再度バスケットを入れてみてください。



4

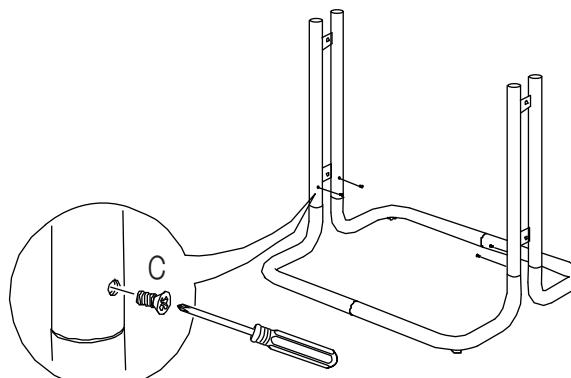
3 で組立てた物に、下記のイラストの様にCボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

注意!

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

このCボルトを最後までしっかりと締めた場合に、ボルトの締める力にパイプが引っ張られて、がたつきの原因になる可能性がございます。

このCボルトは、仮止めでも使用上の強度には影響はございません。



6

5 で組立てたものを、下記イラストの様に、横に転倒して下さい。次に、⑤パイプの横バーに開いている穴に、下記のイラストを参考にして、④鉄片とAボルト(長)を外側から通したあと、バスケットの側面に開いている穴にもAボルト(長)を通してから、バスケットの内側からBナットを指でくるくると回すようにして止めて下さい。

注意!

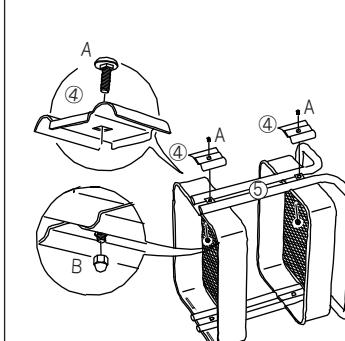
⑤パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが斜めに歪んで組み上がりますのでご注意ください。

注意!

バスケットの組立てる順番ですが、最初に上部バスケットを取り付けてから、次に下部バスケットを取付けるようにして下さい。

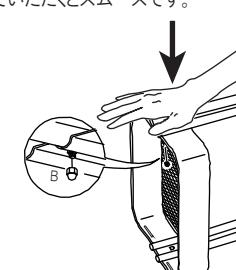
注意!

Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止める程度の仮止めにしておいて下さい。



組立のコツ!

下記のイラストの様に、Aボルトの付近を手で押させて上から押すような形で、組立てていただくとスムーズです。



7

6 で組立てた物を、反対側に裏返して、次に⑤パイプの横バーに開いている穴に、下記のイラストを参考にして、④鉄片とAボルト(長)を外側から通したあと、バスケットの側面に開いている穴にもAボルト(長)を通してから、バスケットの内側からBナットを指でくるくると回すようにして止めて下さい。

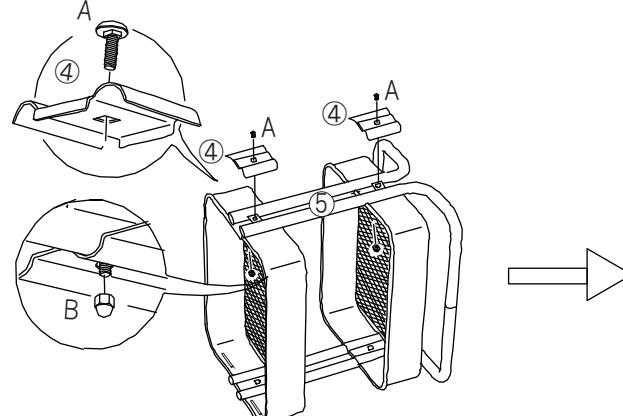
注意!

⑤パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが斜めに歪んで組み上がりますのでご注意ください。

注意!

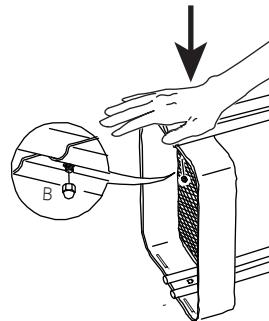
バスケットの組立てる順番ですが、最初に上部バスケットを取り付けてから、次に下部バスケットを取付けるようにして下さい。

注意! Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止められる程度の仮止めにしておいて下さい。



組立のコツ！

下記のイラストの様に、Aボルトの付近を手で押さえて上から押すような形で、組立てていただくとスムーズです。



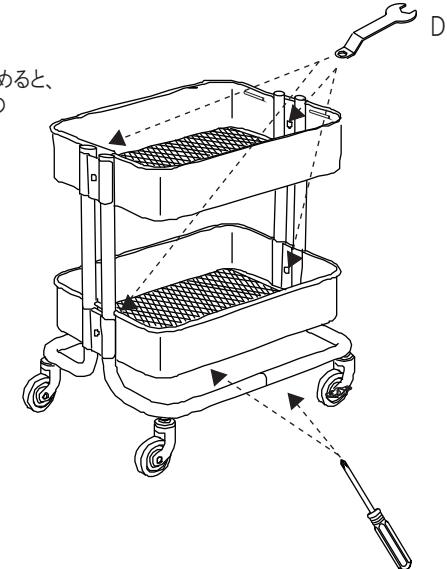
9

8 で組立てた物を起こしてください。次に下記のイラストの様に、2 で仮止めになっていた、Cボルト(短)をドライバーを使用して最後まで締めて下さい。力いっぱいに締めずに、ある程度固くなればOKです。

次に、6 と 7 で仮止めになっていた、Aボルト(長)を、Dスパナを使用して最後まで締めて下さい。

注意!

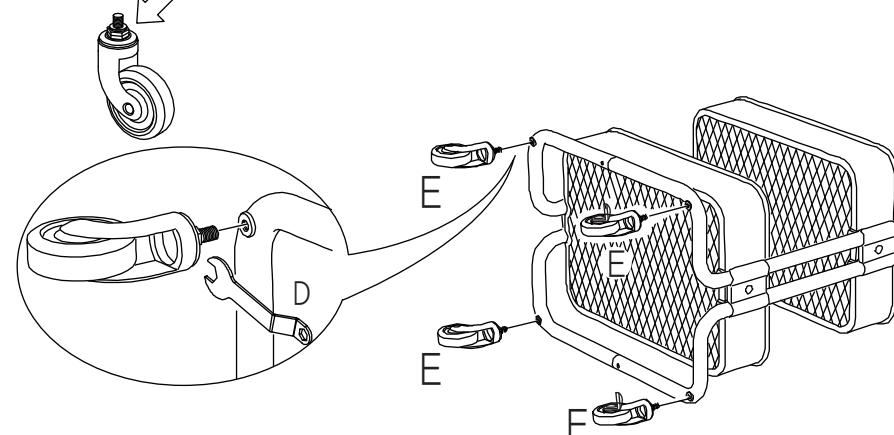
Aボルト(長)は、Dスパナを使って力いっぱい締めると、ボルトを締める力の方が強いので、バスケットの鉄板が歪んでしまう可能性があるので、力いっぱい締めずに、ある程度固くなって、バスケットが前後にかたがたしない程度で止めて下さい。



8

7 で組立てた物の裏側に、下記のイラストの様にEキャスターをDスパナを使用して、取付けて下さい。

※E,Fキャスターのナットが1番下まで締めてあるか確認してから取付けて下さい。

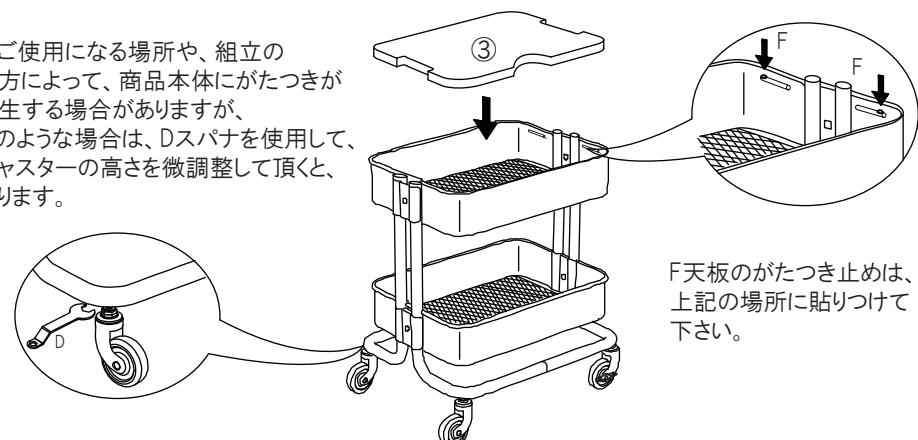


10

9 で組立てた物の、上部バスケットの左右に天板止めのストッパーが溶接されているので、そのストッパーの上に、F天板のがたつき止めを貼りつけて下さい。

次に、上部バスケットに③天板を乗せるようにしておいてください。これで完成です。

※ご使用になる場所や、組立の仕方によって、商品本体にがたつきが発生する場合がありますが、そのような場合は、Dスパナを使用して、キャスターの高さを微調整して頂くと、直ります。



F天板のがたつき止めは、上記の場所に貼りつけて下さい。